

令和4年第2回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年2月18日(金)

午後1時00分～

場 所 にかほ市役所象潟庁舎 大会議室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 報告第 1 号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会設置要綱の一部
を改正する要綱制定の報告について
- 第 3 議案第 4 号 にかほ市社会教育委員の委嘱について
- 第 4 議案第 5 号 にかほ市勤労青少年ホーム運営委員会委員の任命について
- 第 5 議案第 6 号 にかほ市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 第 6 議案第 7 号 にかほ市文化財保護審議会委員の任命について
- 第 7 議案第 8 号 にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員の委嘱について
- 第 8 議案第 9 号 にかほ市教育委員会表彰について
- 第 9 議案第 10 号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について
- 第 10 議案第 11 号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 11 議案第 12 号 令和3年度教育費3月補正予算について
- 第 12 議案第 13 号 令和4年度教育費当初予算について
- 第 13 報 告

令和4年2月18日招集

令和4年第2回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和4年第2回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年2月18日 金曜日
2. 場 所 にかほ市役所象潟庁舎 大会議室
3. 開 会 午後 1時03分
4. 閉 会 午後 3時34分

5. 出席委員 教育長 齋 藤 光 正
委 員 佐々木 郁 子
委 員 佐 藤 道 彦
委 員 小 松 雅 子
委 員 伊 藤 知

6. 説明のための出席者
教 育 次 長 畠 山 真 姫 子
教 育 総 務 課 長 齋 藤 邦
学 校 教 育 課 長 菊 地 新 吾
学 校 教 育 課 副 主 幹 佐 々 木 妙 子
生 涯 学 習 課 長 山 田 高
仁 賀 保 公 民 館 長 三 浦 晶 子
象 潟 公 民 館 長 佐 々 木 美 和
フ ェ ア イ ト 子 ども 科 学 館 長 佐 々 木 孝 人
白 瀬 南 極 探 検 隊 記 念 館 長 阿 部 和 久
文 化 財 保 護 課 長 今 野 和 彦

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案
報告第 1号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会設置要綱の一部を
改正する要綱制定の報告について
議案第 4号 にかほ市社会教育委員の委嘱について
議案第 5号 にかほ市勤労青少年ホーム運営委員会委員の任命について
議案第 6号 にかほ市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第 7号 にかほ市文化財保護審議会委員の任命について
議案第 8号 にかほ市象潟郷土資料館運営審議会委員の委嘱について
議案第 9号 にかほ市教育委員会表彰について
議案第 10号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について

- 議案第 11 号 令和 4 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
議案第 12 号 令和 3 年度教育費 3 月補正予算について
議案第 13 号 令和 4 年度教育費当初予算について

9. 可決した議案

- 報告第 1 号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会設置要綱の一部を
改正する要綱制定の報告について
議案第 4 号 にかほ市社会教育委員の委嘱について
議案第 5 号 にかほ市勤労青少年ホーム運営委員会委員の任命について
議案第 6 号 にかほ市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第 7 号 にかほ市文化財保護審議会委員の任命について
議案第 8 号 にかほ市象潟郷土資料館運営審議会委員の委嘱について
議案第 9 号 にかほ市教育委員会表彰について
議案第 10 号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について
議案第 11 号 令和 4 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
議案第 12 号 令和 3 年度教育費 3 月補正予算について
議案第 13 号 令和 4 年度教育費当初予算について

10. その他の確認事項

- (1) 令和 4 年第 3 回教育委員会は令和 4 年 2 月 25 日（金）午後 1 時
からにかほ市役所象潟庁舎で開催することにした。
- (2) 令和 4 年第 4 回教育委員会は令和 4 年 3 月 28 日（月）午後 1 時
30 分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後 1 時 03 分】

【教育長】

これから令和 4 年第 2 回にかほ市教育委員会を開催いたします。今回の出席委員は、5 名であります。日程の第 1 会議録署名委員の指名を行います。委員には、小松委員と佐藤委員にお願いしたいと思います。書記には、教育総務課の佐々木副主幹を指名いたします。それでは、日程の第 2 報告第 1 号 にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定の報告について、生涯学習課長からお願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

主な変更としては、委員の人数が16人から12人になるということですね。

【生涯学習課長】

はい。より委員の皆さんの意見を反映しやすくするように人数をしばってやっていきたいと思います。

【教育長】

委員の人数を12人とし、第4次計画策定委員策定に向けて頑張っていきたいということでしたが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、報告第1号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第3 議案第4号 にかほ市社会教育委員の委嘱について、生涯学習課長からお願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

新任として、ヨガなどの公民館講座で講師をされている齋藤真弓さんがおりますが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第4号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第4 議案第5号 にかほ市勤労青少年ホーム運営委員会委員の任命について、生涯学習課長からお願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

新任として、青木和夫さんが選ばれております。青木さんはフェライト子ども科学館の運営委員もされています。委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第5号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

【教育長】

日程の第5 議案第6号 にかほ市公民館運営審議会委員の委嘱について、象潟公民館長からお願いします。

(象潟公民館長 説明)

【教育長】

4人の方が新任として選ばれましたが、家庭教育や社会教育に貢献してくださっている方々ですが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第6号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第6 議案第7号 にかほ市文化財保護審議会委員の任命について、文化財保護課長からお願いします。

(文化財保護課長 説明)

【教育長】

文化保護審議会は、にかほ市の文化財に指定するかどうかを判断して決定する機関なので、専門的な知識が非常に大事な会です。高橋さんと網田さんは文化財の専門家です。委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第7号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第7 議案第8号 にかほ市象潟郷土資料館運営審議会委員の委嘱について、文化財保護課長からお願いします。

(文化財保護課長 説明)

【教育長】

象潟郷土資料館運営委員協議会は、象潟郷土資料館をいかに小中学生や市民の方々に活用していただけるかという協議会です。そのために、小中学生の校長先生や、道の駅の支配人、郷土史研究会員、今回新たに池田修三サポーター副会長である須藤恵子さんを入れて、象潟郷土資料館の活用に繋げていきたいという案です。委員の皆様から何かありませんか。

【伊藤委員】

文化財保護審議会を除いて、再任の方が多くいるようですが、再任の方々の会議の出席率が知りたいです。

【教育長】

生涯学習課長、社会教育委員はどうですか。

【生涯学習課長】

ここ2年は書面開催なので、それ以前の資料は今、持ち合わせていないのですが、書面に関しては、意見を出してくださる方が多くいらっしゃいます。公民館運営審議会と勤労青少年ホーム運営委員会も同じです。

【文化財保護課長】

文化財保護審議会はほとんど出席いただいております。郷土資料館運営協議会に関しては、ほとんど出席いただいておりますが、開始時期がいつも3月後半頃となってしまっていて、先生方の都合がつきにくい時期の開催となってしまう、3人の先生のうち1人の先生に出席していただいているという状況がここ数年は続いています。

【教育長】

各委員の皆様からは、ほぼ出席していただいているということで、伊藤委員よろしいですか。

【伊藤委員】

分かりました。

【教育長】

他にありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第8号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第8 議案第9号 にかほ市教育委員会表彰について、教育総務課長からお願いいたします。

(教育総務課長 説明)

【教育長】

本当におめでたいことです。委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第9号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第9 議案第10号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について、学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長 説明)

【教育長】

学校教職員の多忙化対策に繋げていきたいということです。委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第10号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第10 議案第11号 令和4年度要保護児童生徒の認定について、学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

【教育長】

それでは、議案第11号については、申請があった3件のうち、2件を認定、1件を認定しないことに決定してもよろしいですか。

(異議なしの声)

【教育長】

日程の第11 議案第12号 令和3年度教育費3月補正予算について、教育総務課長から順にお願いします。

(教育総務課長から順に説明)

【教育長】

各課長から説明がありましたが、コロナ禍によって事業が中止になったことによる減、各施設が閉館したことによる入場料や使用料の減という説明がありましたが、委員の皆様から何かありませんか。

【佐々木委員】

コロナウイルス対策をよろしくお願いします。

【教育長】

他にありませんか。

(なしの声)

【教育長】

補正予算については、3月の議会でも同様に説明をして、了解を得るように頑張りたいと思います。

【教育長】

日程の第12 議案第13号 令和4年度教育費当初予算について、教育総務課長からお願いします。

(教育総務課長 説明)

【教育長】

教育総務課長から説明がありましたが、委員の皆様から質問や意見はありませんか。

(なしの声)

【教育長】

学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長 説明)

【教育長】

学校教育課長から説明がありましたが、ほとんど例年通りということでしたが、ICT支援員の委託料、教職員の勤務管理システムの導入が新たに付け加えられました。委員の皆様から質問や意見はありませんか。

【小松委員】

ICT支援員というのは1人で週1回半日で各校を回るのですか。

【学校教育課長】

はい。

【教育長】

各学校にICTの先生がいますので、その先生方にICTの専門的な知識を教えて、その先生方が各学校で生徒に教えるということです。

【佐々木委員】

教職員の勤務管理システム導入ですが、時間短縮にもなり、とても良いと思います。

【伊藤委員】

給食室の修繕工事は毎年入っているので、大規模改修の予算を計上した方が良いと思います。以前に、小学校の給食室が故障して給食を提供できないという状況になったことがあったので、毎年修繕が必要なのであれば、今後、市長部局に問いかけていき、頻繁に修繕を出さないよう予算を確保してもらった方がよろしいかと思います。

【学校教育課長】

ありがとうございます。予算計上していきたいと思います。

【教育長】

給食施設の修繕については、今後も継続して市長部局、財政班に申し入れしていきたいと思います。将来的に、自校給食というよりは、センター化も考えておりますので委員の皆様からもお願いしたいと思います。

次に、生涯学習課長から順にお願いします。

(生涯学習課長 説明)

(仁賀保公民館長 説明)

(象潟公民館長 説明)

【教育長】

生涯学習課長、各公民館長から説明がありましたが、主に図書館こびあのエレベーターの設置、象潟公民館の陶芸室や倉庫の解体、青少年ホームのエレベーターの解体、象潟公会堂の外壁の改修工事がありますが、委員の皆様から何かありませんか。

【伊藤委員】

予算には関係ないのですが、仁賀保・金浦・象潟の3地区にそれぞれ公民館と図書館があるのですが、老朽化してきて、かなりの金額がかかっていると思います。今後にかほ市の公共施設の見直しをして、一本化していけないものなのかなと思います。どう考えていますか。

【教育次長】

教育委員会関係はかなり多くの施設があります。伊藤委員がおっしゃったように、多くの施設が老朽化している状況です。これについては建物だけの問題ではなく、機能の集約もあわせて考える方向です。この内容は長年の課題で、いつ実行に移すのか、これから公共施設の管理計画にとりかかる予定ですので、その時に意見を反映していけるようにしていきたいと思います。

【教育長】

商工会は一本化しましたね。庁舎を一本化していくのか、公民館を一本化していくのか、公共管理計画の中でどのような位置付けをしていくのか、教育委員会の大きな課題の一つだと思います。日頃から一本化について公民館同士で話をしたり、市民の方々の声を聞いていくことが大事だと思います。他にありませんか。

【小松委員】

公民館をまとめるという話ですが、例えば、秋田市は面積が広いので何ヵ所かに公民館があるので、地区ごとにサイズを縮小して存続するという形でも良いと思うので、どの辺りの人がどのような目的で利用をしているか、利用率を細かく調べて、具体的な数字にして、どの程度の利用率かで縮小したり拡大するというのを、市民の方々に納得していただけるような資料を作ることから始めても良いのではないかと思います。施設によっては使いやすい施設があると市を超えて利用することがあるので、他の市の方からも利用していただけるようなものを作ることも良いのかなと思いました。

【教育長】

今の意見をこれからの検討に活かしていきたいと思います。

【佐々木委員】

この地域で交通量を考えるとバスも電車も一時間に一本あるかないかなので、もし小

松委員が言ったような施設が地域にあれば、学校帰りに寄ることも考えられますが、地域のものは大事だなと思います。にかほ市の施設が一本化して他の図書館がなくなれば、距離が遠くなって、放課後に親御さんが車で送らなければいけなかったり、子供同士であまり使わなくなってしまうと思います。例えば、金浦の多目的屋内運動場の隣に何かを作ったり、いくつか繋がった施設があれば人が入ってくるのかなと思います。

【教育長】

他にありませんか。

(なしの声)

【教育長】

フェライト子ども科学館長からお願いします。

(フェライト子ども科学館長 説明)

【教育長】

ほとんど昨年度と同じですが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

米村でんじろうサイエンスショーの 550 万円の予算を有効活用できるよう、また、市民の参加率を増やせるよう、フェライト子ども科学館長にはお願いしたいと思います。
白瀬南極探検隊記念館長からお願いします。

(白瀬南極探検隊記念館長 説明)

【教育長】

来年度の企画展の主な内容はペンギンです。ペンギン博士と言われた方もおりますので、その方が提供してくださる資料を基に展示していくということと、大隈重信さんと白瀬轟さんの関係は切っても切れない関係なので、その関わりについて企画展を行うことが大きな一つの内容です。二つ目は白瀬隊の隊員の親族を含めて、資料や調査の結果をデータ化していくことを、象潟郷土資料館もフェライト子ども科学館も白瀬南極探検隊記念館もそうですが、まずは白瀬南極探検隊記念館が代表としてデータ化をしていって、デジタル化を進めていくということです。三つめはキュービクル改修工事です。この三つが白瀬南極探検隊記念館の主な事業として挙げられています。委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

企画展を頑張っていきたいと思います。
最後に、文化財保護課長からお願いします。

(文化財保護課長 説明)

【教育長】

文化財保護課の主な事業としては、獅子ヶ鼻湿原の緊急調査が最終年度になります。それをまとめたものを基にして、獅子ヶ鼻湿原管理計画を見直していくということです。二つ目は、象潟、前川の基盤整備のために九十九島を中心として文化財の測量に専念したいということです。三つめは、池田修三さんが生誕100年ということで、企画展や「まちびと美術館」などの工夫をしていきたいということです。この三点が挙げられましたが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

では、議案第13号については、異議がないと認め、原案どおり承認いたします。
それでは、日程の第13報告ですが、配布した資料を後ほどご覧ください。
次回の第3回教育委員会は2月25日(金)の午後1時からにかほ市役所象潟庁舎で、第4回教育委員会は3月28日(月)の午後1時30分から金浦公民館で開催いたします。以上で本日の委員会に提案された議案の審議は終了しましたので、第2回にかほ市教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午後3時34分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

齋藤 光正

” 委 員

小松 稚子

” 委 員

佐藤 道彦

「吉田松陰」に想う

にかほ市教育長 齋藤 光正

中国の儒教経典である「礼記」(らいき)に、

～師たるものは、その行いを厳粛にして、はじめて自ら「威厳」が備わり、その教えを説く道も尊いものとなる。「師厳にして然る後に道尊し」～

という文が掲載されております。

この礼記では、口では立派なことを説いても、実行に「威厳」を欠けば、弟子たちはむしろ反発を受けるものだと教えております。

つまり、この世で人の師となるほど難しいことがないということでもあります。

ところで、生まれながらにして、人の師となる天賦の才に恵まれた人物がおります。その人物は、次の高等学校の歴史の教科書から消えるという幕末の教育者・吉田松陰であります。

松陰は幼少期から秀才の誉れが高く、常に己の未知なるものを識ろうとする行動力を持っていたと言われております。

嘉永6年(1853年)6月、ペリー来航の報に接した松陰は、まずは世界の情勢を知らなければならないと、国禁である欧米渡航を決意し、長崎でロシア軍艦に、下田でアメリカ軍艦にと、二度にわたる密航を企てました。しかし、目的を達することができませんでした。

自首した松陰は、下田から江戸へ、そして郷里の「萩の野山獄」へ移され、やがて実家である杉家に幽閉されました。

松陰は、そこで、「松下村塾」を2年10カ月ほど開いた。この間、幕府の強権発動策の影響を受け、安政6年(1859年)の「安政の大獄」に連座し、松陰は30歳にして刑死を遂げたのであります。

あまりに儂い(はかない)人生に対し、弟子たちが慷慨(こうがい)しましたが、松陰は「留魂録」を書き残し、

～今、30歳でこの世を終わるわれには、それなりの四時(四季)が備わり、それなりの秀美(成果)があった。～

と、松陰はなんの蟠り(わだかまり)もなく、明鏡止水(めいきょうしすい)の心境で、弟子たちに諄々と説いたというのであります。

そして、

～自分は不甲斐(ふがい)なくも、この闘いに敗れたが、一度敗れたぐらいで挫けてしまうようでは「勇士」と言えまい。わが屍を越えて、先に進んでくれ、自分も魂を留めておいて、それを見守っている。後は頼むぞ。「切に囑す、切に囑す」～
と言い残しました。その松陰の姿は「威厳」そのもので、万感胸に迫る思いに至ります。

松陰の素晴らしいことは、門人を選び好んで教えたりしていないところでありました。門人の階級も下級武士の子弟が多く、寺小屋のごとき喧噪ぶりでありましたが、松陰は一向に気にしなかったようです。松陰はこれに弟子たちを「同学」と呼び親しみ、天下の一廉の人物の如く扱ったようです。塾生たちの長所を見つけ出すことに情熱を傾け、本人も気づかぬ美点を的確に指摘したそうです。

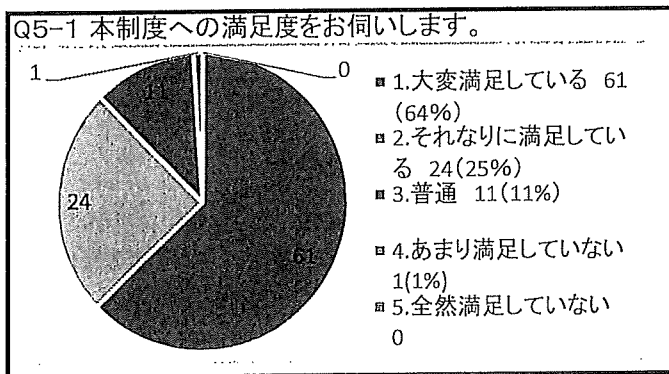
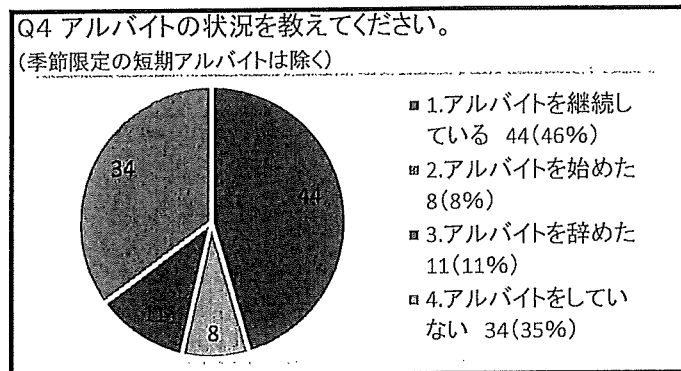
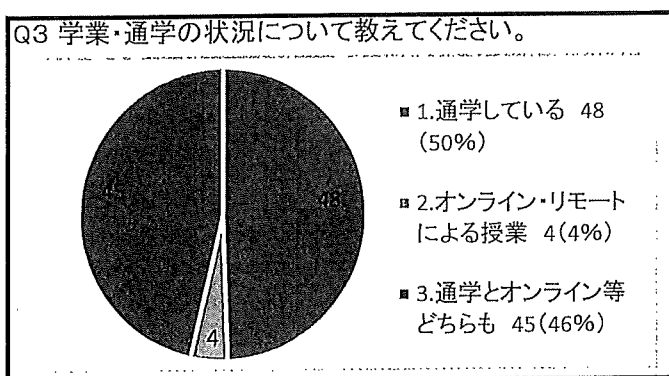
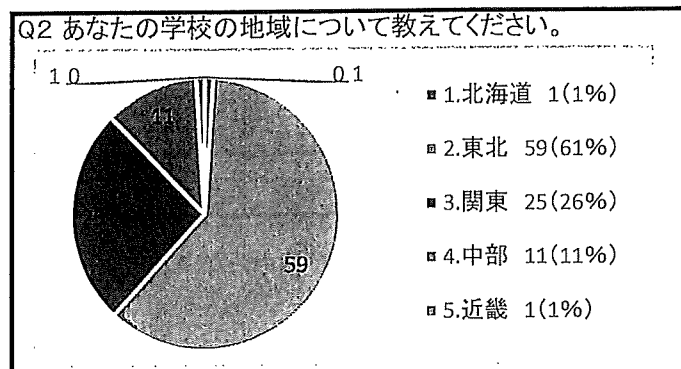
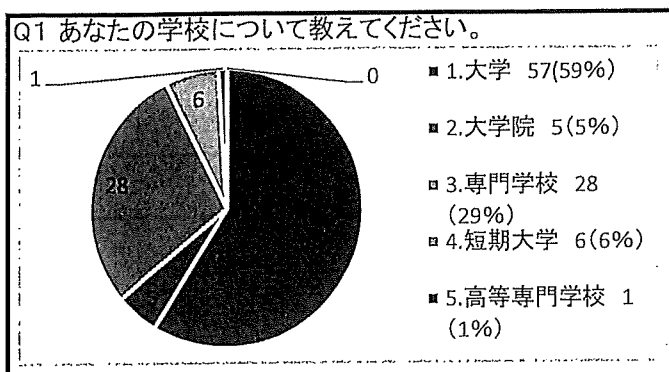
例えば、高杉晋作は傍目には暴れ者、放蕩児として厄介視されていましたが、松陰は、「君には政治・軍事の才がある」と持ち上げ、秀才の系譜としての久坂玄瑞と並び称するほどに評価したというのであります。

このように、松陰の人生は教育の可能性を考える上で、とても役立つものであります。

大学生等生活支援給付事業のアンケート調査結果(最終版)

集計期間	2021年12月10日 ~ 2022年1月31日
回答数	97 回答率26.2% 97人/370人中

集計日: 2022.02.01



Q5-2 上記の評価の理由を教えてください。

1.「大変満足している」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・家賃、食費、光熱水費等に使った。生活の支えになった。生活の厳しさが和らいだ。
- ・アルバイト収入が減少していたため助かった。商品券を使って、にかほ市の飲食店に貢献できればと思った。
- ・現金はもちろん、久しぶりに地元のおいしい食材を食べることができた。
- ・ふるさとを思い出させてくれるような取り組みが多く、卒業後、地元に戻ろうという思いがより強くなった。
- ・金銭的に助かった。また、親と話すきっかけになったので良かった。
- ・商品券を利用して食料をたくさん送ってもらうことができたのでとても助かった。
- ・にかほ市を出た一人暮らしの学生に対しての素晴らしい制度だと思った。とても嬉しかった。
- ・学業との両立も考え、アルバイト漬けにならないようにしているため、アルバイトだけでは経済的に十分ではなかった。給付金のおかげで、少し余裕を持って生活を送ることができたと思う。
- ・時期的に就活などと重なり、生活に苦しんでいたから。
- ・就活に向けてアルバイトをやめたりしたので、その分の給付を貰えたという点では大変ありがたい。自分のように県外で一人暮らししている学生は地元のためになにか還元しようという思いから、就職先を地元にしようなど種々折々の考えが生まれてきたと思う。

2.「それなりに満足している」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・生活費に充てることができ、大変感謝している。正直、お金はいくらあっても困らないので満足度を一つ下げた。
- ・現金給付は助かった。市の業務がひっ迫するなかで対応していただきありがたかった。
- ・もう少し現金でもらえるとありがたかった。全額現金振り込みの方がよかった。
- ・この給付金とアルバイト取入とで最低限の生活を送ることができている。(大学の授業料を除く)
- ・お金が得られて、選択肢が増えた。
- ・実家から食べ物が送られてきて助かった。
- ・保護者側は商品券で地元のお店で購入でき、学生側には現金を配付することで自由に使えるから助かった。
- ・学生本人が使えるのは2万円、商品券で3万円と用途が限られており、非常に使用しづらかった。
- ・秋田出身の学生が県外に行っても支援をしていただけるのは大変ありがたいことだ。

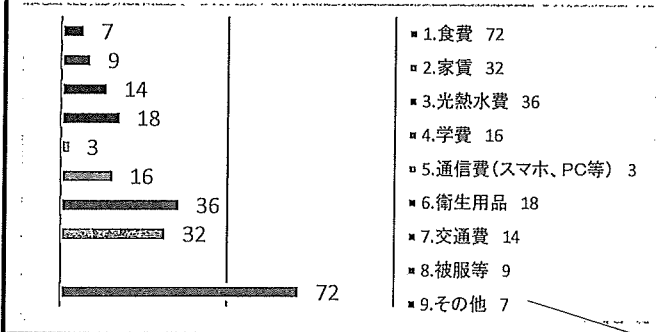
3.「普通」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・現金が少額であった。
- ・現金2万円だけでは、数か月もたない。前年のように月々給付金を受け取れる制度だとありがたかった。
- ・クーポン(商品券)が使いにくかった。
- ・商品券よりも給付金の方を多く出して欲しかった。

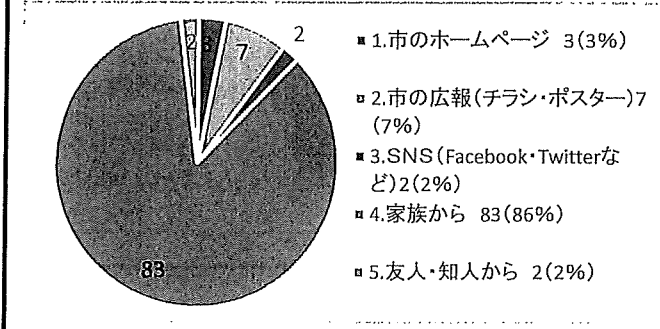
4.「あまり満足していない」と回答した人の意見(全部)

- ・商品券について、県外なのでまだ1回も出来ておりません。県外に出た方が受けることができるように交通費(3万円)等が必要だと考えます。

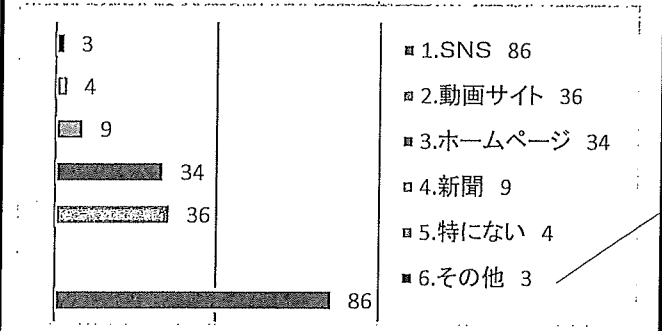
Q6 市からの給付金をどんなことに利用しましたか。(複数回答可)



Q7 この制度を知ったきっかけは何ですか。



Q8 普段、情報を集めるための媒体を教えてください。(複数回答可)

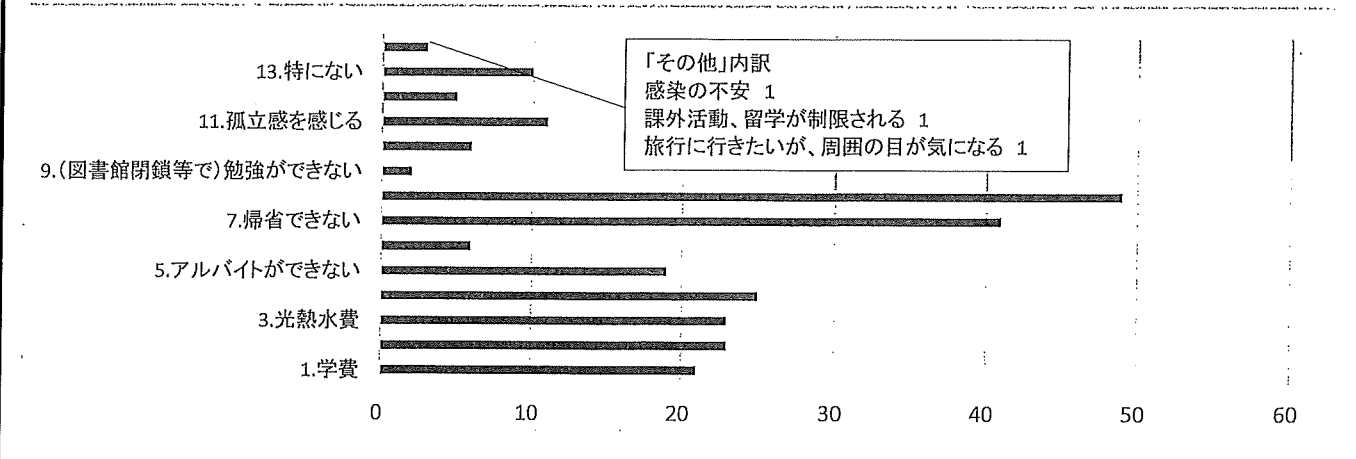


「その他」内訳

- 医療費 1
- 交際費 1
- スマートウォッチ 1
- 教科書・テキスト等の書籍代 2
- 両親に預けた 1

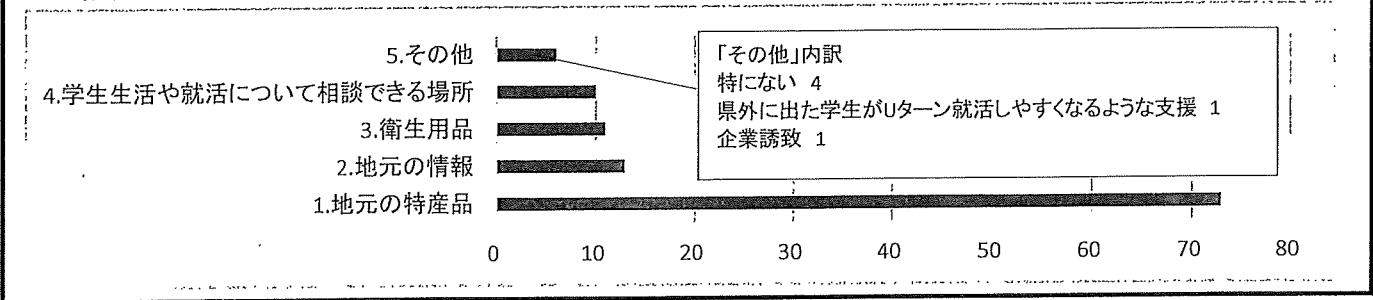
「その他」内訳
ニュースアプリ 1
テレビ 2

Q9 コロナの拡大で不安な(困っている)ことをお聞きます。(複数回答可)



「その他」内訳
感染の不安 1
課外活動、留学が制限される 1
旅行に行きたいが、周囲の目が気になる 1

Q10 給付金・商品券以外で、あなたが学生として市に期待する支援は何ですか。(複数回答可)



Q11あなたが日常生活で感じていることや近況などを自由に記載してください。

- ◆ 地元を離れ、近所や地域の人との会話、知らない人でもすれ違った時に挨拶をすることなどの些細な日常・人との繋がりが嬉しかったな、楽しかったな、と今感じている。しかし、良いことについても悪いことについても情報が出回る、伝わるのが早すぎる点はあまり好きではない。
- ◆ 帰省したら買い物というよりは、奈曾の白滝、土田牧場、仁賀保高原などの自然に触れたいという思いが強い。
- ◆ 大学は通学可能になっているが、オンラインの生活に慣れてしまった人が多数いるため、実際登校している人はかなり少ない。
- ◆ 給付金は非常に嬉しかったです。わがままですが、またお願いしたいです。
- ◆ コロナが落ち着いたと思ったら、変異株による問題で心が疲れる
- ◆ 規制も緩くなり普通の生活に戻ってきていることを嬉しく思っている。
- ◆ もう一度今回のような支援をしていただきたい。
- ◆ 生活費などでいっぱいいっぱい、遊びなどに使えるお金がなく、学生生活を満喫できない。友達との交友関係が薄れている
- ◆ 地元に戻りにくい。
- ◆ コロナが終息するまで飲食店でのアルバイトが怖いため、まだ金銭的な不安がある。今年の冬も帰省できるかわからないため、家族からの疎外感を感じる。
- ◆ うつによりバイトができず、一人暮らしの為生活に困っている。可能であれば給付金制度を復活させて欲しい。
- ◆ 毎月のかかるお金がカツカツなのでもう少しあってもいいと思った。
- ◆ いずれは秋田に帰って仕事がしたい。その為に今は色々な経験をして大きな人間になりたい。自分が生まれ育ったにかほで生きていく道も検討したいと思っている。
- ◆ 大学生の間はどうしてもアルバイトと学業で忙しく、お金もないので生活費だけでアルバイト代がなくなり学費で将来の借金が増える。最近はコロナが落ち着き旅行の計画を立てることが出来ていて、忙しくはあるが閉塞感が少しづつ無くなっている。
- ◆ 部活をやっているのだからバイトだけだと遊ぶお金がない。
- ◆ にかほ市を離れ、一人暮らしをするようになりましたが、すぐにかほ市の支援が優しく、にかほ市の良さが分かり、こっちに来てからにかほ市の過ごしやすさなど感じる事が出来ました。
- ◆ 帰省のための交通費が少し高いなと感じています。
 今の期間は高速バスも運行しておらず、新幹線でしか帰省出来ない状況です。そのため、普段だと行きで3,000~4,000円ほどで帰省できますが、新幹線だと15,000円ほどかかってしまいます。
 他県出身の友達が、自分の市で帰省のための交通費を市が負担してくれるキャンペーンというのをやっているのを知ったので、もしにかほ市も出来たらいいなと思いました。
 ((私は今年度で専門学校を卒業するので来年度以降の学生さんのためにそういった制度をやって頂けたらと嬉しいと思います))
- ◆ コロナでリモートなどもなく、普通に通学できており充実している。お金に対する不安が少なくなったのも心の余裕ができて、バイトも程よく入れることが出来る。
- ◆ 大学生になり、近くに秋田県の人がおらずなかなか大変。
- ◆ サークル3つ、飲食店のアルバイト、短期アルバイト、長期インターン、芸術系の展覧会企画など、コロナ禍でも比較的充実した生活を送ることができています。旅行などは自由に出来ませんが…2年に上がったらもっと専門性の高い授業が始まるので、それを楽しみに頑張りたいです。
- ◆ コロナ禍で多くの制約がありましたが、自分の将来に向けてじっくり考えることができました。現在は、大学での研究活動に注力しています。将来的に象潟に帰りたいと考えているので、今後も若者たちのためにこの制度を続けて欲しいです。ありがとうございました。
- ◆ 大学までの通学が辛いです。

(次のページへ続く)

◆大学は春休みに入り帰省したいと思っていたがコロナウイルスの第6波によって現状では厳しいと感じている。ただどうしても帰省したい学生もいると思うので、出来るだけ帰省を控える呼びかけをするのではなく、できる限り帰省したい学生をサポートできるようにしてほしい(PCR検査の補助など)

◆バイトができていないわけではないが、今回の感染拡大によってシフトは減らされた。今後どうなるのかは心配である。また、にかほ市を離れて生活して、にかほ市が好きだったのだと、好きなのだと気が付いた。ぜひ地元の特産物等、いただけたら嬉しい。

今後もよろしく願いいたします。ありがとうございました！

学校教育課

1. 事業報告

- 1 2月25日(土)～1月13日(木) 冬季休業
- 1月 5日(水) キッズプログラミング教室初級編(金浦小)
- 1月 6日(木) キッズプログラミング教室中級編(象潟小)
- 1月11日(火) キッズプログラミング教室上級編(平沢小)
- 1月14日(金) 3学期始業式
- 2月 4日(金) にかほ市校長会 県立高校前期選抜合格発表

2. 事業計画

- 2月25日(金) 教育研究所運営委員会
臨時教育委員会(教職員人事について)
- 3月 8日(火) 県立高校一般選抜試験
- 3月12日(土) 中学校卒業式
- 3月15日(火) 小学校卒業式
- 3月16日(水) 県立高校一般選抜合格発表
- 3月18日(金) 修了式
- 3月20日(日) 教職員ワクチン追加接種

令和3年度中学3年生の卒業後の進路

令和4年2月4日現在

中学校名別(生徒数)		仁賀保中(95)		金浦中(32)		象潟中(77)		にかほ市(204)		
高校名	学科	男	女	男	女	男	女	男	女	計
秋田高等学校	普通・理数							0	0	0
秋田南高等学校	普通							0	0	0
秋田商業高等学校	商業	1						1	0	1
本荘高等学校	普通	3	2	1		1	2	5	4	9
由利高等学校	普通・理数・国際	1	2					1	2	3
由利工業高等学校	機械	2						2	0	2
	環境システム							0	0	0
	電気			1		4		5	0	5
	建築	1				2		3	0	3
西目高等学校	総合	7	2			2	2	9	4	13
仁賀保高等学校	普通	1		1		1		3	0	3
	情報メディア	1						1	0	1
湯沢翔北高等学校	総合ビジネス							0	0	0
角館高等学校	普通							0	0	0
秋田工業高等専門学校	創造システム工学			1				1	0	1
ゆり支援学校	高等部							0	0	0
秋田聖霊短大附属高校	普通						1	0	1	1
本荘高等学校 定時制	普通科							0	0	0
酒田南高等学校	グローバル専攻						1	0	1	1
	A進学専攻					1		1	0	1
	キャリアデザイン専攻	1			1	4	1	5	2	7
	観光・地域創生専攻							0	0	0
	食育調理コース						1	2	1	2
和順館高等学校(通信)	普通							0	0	0
羽黒高等学校	普通							0	0	0
遊佐高等学校	総合							0	0	0
尚志高等学校(福島県)	普通		1					0	1	1
NPC高等学院(愛知県)	ペット		1					0	1	1
学校法人石川高等学校(福島県)	ハイブリッド文理				1			0	1	1
仙台育英高等学校						1		1	0	1
函館ラ・サール高校						1		1	0	1
								0	0	0
								0	0	0
合計		18	8	4	2	18	9	40	19	59

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

- 1月22日(土) 公民館講座「プロに学ぶメイクアップ講座」 10名参加
1月25日(火) 公民館講座「カラダ改造計画③」 27名参加
1月27日(木) 金浦福寿大学 1月授業
・施設見学「エスパーク★にかほ(屋内運動施設)」
・東京パラリンピック競技「ボッチャ」体験
35名参加
- 2月 5日(土) 公民館講座「家庭園芸講座」 8名参加
2月 6日(日) 親子ふれあい体験教室
・ぼくもわたしも陶芸家
・幸せを呼ぶサンキャッチャーを作ろう
・ハワイアンリボンレイストラップを作ろう
→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- 2月10日(木) ほんわっカフェ
→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- 2月12日(土) 令和3年度成人式
→新型コロナウイルス感染症拡大のため来年度に延期

2. 事業計画

- 2月24日(木) 金浦福寿大学 2月授業
「心の健康づくり出前講座」
2月25日(金) まんまある 「産後ケアの運動&風邪予防」
2月26日(土) 浜っ子クラブ「谷さんのおはなし会」&おわりの会
3月10日(木) ほんわカフェ

図 書 館 ・ 仁 賀 保 勤 労 青 少 年 ホ ー ム

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「原作を読む」

象潟分館 「今年は何にトライする？」

こぴあ 「東北6県ローカル文化 ～地域にまつわる文化を知ろう～」

1月26日(水) にかほ市読書感想文募集事業 第4回審査委員会
一般の部 応募作品5点(優良賞2点・佳作1点)

1月28日(金) ブックスタート
→2月18日(金)に延期 ※読み聞かせは行わない

2月11日(金) にかほ市読書感想文募集事業「表彰式」
→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

2月12日(土) 読み聞かせボランティアいぶき「おはなし会」
→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

※1月31日(月) 現在～読書の記録帳「読書通帳」発行数
申込者102名(こぴあ44名、仁賀保分館28名、象潟分館30名)

【仁賀保ホーム】

1月28日(金)～30日(日) グランドピアノ一般無料開放
8団体 14名参加

2月 3日(木) トレーニング室新規利用者講習会 6名参加

事業計画

【図書館】

3月12日(土) 読み聞かせボランティアいぶき「おはなし会」

【仁賀保ホーム】

3月 3日(木) トレーニング室新規利用者講習会

3月13日(日) ツキイチコンサート(オカリナコンサート)

3月23日(水) にかほ市勤労青少年ホーム運営委員会

仁賀保公民館

1. 事業報告

1月18日(火)	子ども太鼓体験教室①	参加者	7人
22日(土)	料理教室「にかほ産大豆で味噌作り」	参加者	9人
25日(火)	子ども太鼓体験教室②	参加者	7人
28日(金)	パソコン講座・活用編⑦「絵はがきを作ろう」	参加者	6人
2月5日(土)	キッズユートリック「雪の動物園」【中止】		
16日(水)	高齢者学級むらすぎ学園「健康スポーツ」【中止】		
1日・8日・15日・22日(火)	子ども太鼓体験教室【中止】		

2. 事業計画

2月21日(月)	高齢者学級むらすぎ学園 運営委員会		
25日(金)	パソコン講座・活用編⑧ 「パソコン・スマホのセキュリティ」		
25日(金)	キッズ・まもーる「平沢小学校」		
26日(土)	キッズユートリック「お別れお楽しみ会」		
28日(月)	働くときに！日常生活に！役立つパソコン講座		
3月1日・8日・15日・22日(火)	子ども太鼓体験教室③～⑥		
16日(水)	高齢者学級むらすぎ学園「修了式」		

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R3	R1	R1同期比%	説明
4～1月計	9,046	37,885	▲76.1%	休館：令和2年2/29～8/2(新型コロナ対策、エントランス修繕工事)
うち1月	756	2,535	▲70.2%	休館：令和4年1/27～2/21(新型コロナ対策)

○新型コロナウイルス対策について（2月22日～）

- ・休館：月（祝日の場合は翌日）
- ・館内の人数制限：状況により制限
- ・滞在時間：①9:00～11:45 ②13:00～16:30
- ・入館料：通常料金
- ・入館者への要請：記録票記入、マスク着用、検温の協力、手指消毒等
- ・実験工作教室等：少人数で実施

○3Dプリンター教室「イースターエッグを作ってみよう」

- 2月6日（日） 参加10人（子6大4）
2月13日（日） 参加8人（子4大4）

2. 事業計画

- 2月20日（日）米村でんじろうプロダクション「実験教室」 中止
- 2月26日（土）実験工作教室「ゾートロープをつくろう」 中止
- 3月19日（土）、20日（日）米村でんじろうプロダクション「実験教室」
※実施方法については協議中

3. その他

- 2月14、15日 抗菌・抗ウイルスガラスコーティング施工
- ワクチン接種による休館：
2/23(水※祝日)、27(日)
3/6(日)、13(日)、20(日)、21(月※祝日)、27(日)

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R3年度	R元年度	増減(▲)	説明
4月～R4.1月	6,615人	11,040人	▲40.1%	
うち1月	149人	1,285人	▲88.4%	1/27～臨時休館
2月の状況	臨時休館中(2/20まで)			

(2) 第55回白瀬中尉をしのぶ集い

期日：1月28日(金)

内容：規模を大幅に縮小し、顕彰会関係者、職員のみ参加で実施

参加者数：20人

(3) オンラインイベント「やまとゆきはら・白瀬を楽しむZoom会」(NPO白瀬南極探検100周年記念会共催)

期日：1月28日(金)

内容：絵本「やまとゆきはら」上映、阿部雅龍氏の冒険報告等。

参加者数：11人(親族、一般参加を含む)

(4) 郷土史市民講座(象潟郷土資料館共催)

期日：2月1日(火) 会場：金浦公民館

演題：「晩年の白瀬中尉夫妻」 講師：小柳伸光氏

参加者数：50人

(5) 参与会議・オンライン会議(第2回)

期日：2月17日(木)

内容：参与からの意見・提案に対する対応方針説明等

参加者：8人(参与4人ほか)

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した事業

わらび座ミュージカル市民観劇バスツアー 期日：2月8日(火), 12日(土)

2. 事業計画

○令和4年度県内学校から学校行事での来館の場合の入館料免除について

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

免除対象：秋田県内の小学校、中学校、高等学校の修学旅行等の学校行事

対象施設：象潟郷土資料館、白瀬南極探検隊記念館、フェライト子ども科学館、

仁賀保勤労青少年ホーム展示室

わらび座ミュージカル「だってあなたの娘ですから」を鑑賞して

アンケート集計結果（ご報告）

期 間●令和3年12月2日～令和4年1月21日（日数：9日）

対 象●小学5,6年生（4校）324人＋中学1,2年生（3校）325人＝合計649人

回答者●小学生309人（回答率95.4%）、中学生315人（回答率96.9%）

合計624人（回答率96.1%）

質問と集計結果

Q1 あなたの学校名と学年を（ ）の中に書いてください。（省略）

Q2 鑑賞した後の感想はいかがですか？（○で囲んでください）

- | | | |
|---------------|-------------|-----------------|
| 1 とてもよかった | 441人（70.7%） | |
| 2 よかった | 160人（25.6%） | ※満足度（1+2=）96.3% |
| 3 ちょっとつまらなかった | 13人（2.1%） | |
| 4 つまらなかった | 3人（0.5%） | |
| 5 わからない | 7人（1.1%） | |

Q3 ミュージカルを見て学んだことや感想などを書いてください。（後記参照）

Q4 あなたは、白瀬南極探検隊記念館に入ったことがありますか？

- | | | |
|------------|------------------|------------------|
| 1 入ったことがある | 459人（73.6%） | |
| ※回数 1回 | 上記のうち115人（25.1%） | 2～4回 229人（50.0%） |
| | 5～9回 70人（15.3%） | 10～19回 28人（6.1%） |
| | 20～29回 12人（2.4%） | 30回以上 4人（0.9%） |
| 2 入ったことがない | 161人（25.8%） | |

感想（自由筆記）

- ・ミュージカルそのものだけでなく会場の照明や小道具などの要素などでも楽しめたので良かった。白瀬轟の家族については考えたことがなかったのでこのお話はいいなと思った。[中1]
- ・白瀬轟やその家族の探検後に起きていたことを知らなかったこともあったので、観賞して初めて知ることができました。生きているかぎり、どんな挑戦でもできることを学びました。[中1]
- ・白瀬轟の事はだいたい知っていましたが、南極での出来事や、南極探検後のストーリーなどを詳しく知ることができました。劇場での迫力がすごく伝わってきました。また来たいと思える劇でした。[中2]
- ・劇中に何度も出てきた、「生きることを諦めない」という言葉がとても心に残りました。これから生活していく中でこの言葉を大切にして白瀬轟さんの生き方を参考にしていきたいです。[小6]
- ・いろいろな表現をしてくれてすごくわかりやすかったです。今度は、ちがう物語も家族でみにいきたいです。白瀬轟さんがなにをしたかくわしく分かりました。[小5]
- ・歌を歌っているときの声がとてもきれいだったので私も頑張りたいです。白瀬轟が色々な苦しい事でもあきらめずにやっていたのがすごく分かりました。[中2]

～その他、全員の記入がありました～

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R3	R元	比較	増減率	説明
4～1月 計	1,768人	2,894人	△1,126	△38.9	検温、マスク着用、手指消毒、入館記録、入館者数制限なし
うち1月	25人	203人	△178	△87.7	1/27～2/20まで臨時休館

- 1月12日(水) 第1回郷土史市民講座 「鳥海山・飛島ジオパーク、世界への挑戦」 受講者67人
 講師/東北公益文科大学 公益学部 准教授 新名 阿津子 氏
 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会 主任研究員 大野 希一 氏
- 1月22日(土) 第2回郷土史市民講座 「仁賀保氏の歴史」 受講者67人
 講師/企画調整部 総合政策課 課長 齋藤 稔 氏
- 1月26日(水) 第3回郷土史市民講座 「世界遺産とにかほ市の縄文遺跡」 受講者62人
 講師/県文化財保護室 埋蔵文化財・世界遺産登録推進班 巴 亜子 氏
- 2月 1日(火) 第4回郷土史市民講座 「晩年の白瀬中尉夫妻」 受講者56人(リモート6人)
 講師/南極探検隊長白瀬轟顕彰会 会長 小柳 伸光 氏
 ※第4回からZoomによるリモート開催を併用
- 2月 5日(土) 第5回郷土史市民講座 「小坂町の版画家 小泉さん」 受講者41人(8人)
 講師/小坂町立総合博物館郷土館 学芸員 安田 隼人 氏
- 2月12日(土) 第6回郷土史市民講座 「象潟大地震再考」 受講者64人(6人)
 講師/宮城学院女子大学 学芸学部 准教授 高橋 陽一 氏

2. 事業計画

- 2月24日(木) 第1回やさしい古文書講座：会場 エスパーク★にかほ
 講師/秋田県公文書館 副主幹兼主任学芸主事 一関 修二 氏
- 3月 3日(木) 第2回やさしい古文書講座：会場 エスパーク★にかほ
 講師/秋田県立博物館 新堀 道夫 氏
- 3月 5日(土) 第3回やさしい古文書講座：会場 エスパーク★にかほ
 講師/秋田県立博物館 新堀 道夫 氏